



本校は、令和 8 年度に創立 80 周年を迎えます

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-219

TEL 048-641-0459

FAX 048-645-4584

E-mail sakuragi-j@saitama-city.ed.jp

「藤の花」

森角 由希子

「藤の花は、今どのようになっていますか？」

こうお尋ねになったのは、本校第 17 代校長 渋川 侶章（しぶかわ ともりの）先生です。4 月 19 日（土）さいたま市文化センターで行われました、さいたま市吹奏楽連盟主催の合同演奏会に、渋川先生がご来場くださいました。その際に、私が桜木中学校へ着任したことをお伝えさせていただいた際の会話の一コマです。（渋川先生は、当時本校の校長でもあり、埼玉県音楽教育連盟会長等も務められ、埼玉県の音楽教育をリードしていらっしゃった先生です。）

本校校庭の西側には、藤の木があります。この藤の木は、創立 25 周年（第 7 代 神田 三郎 校長先生）の際に植樹されました。記念誌には、創立 25 周年記念事業 事業部の取組として、「藤棚つき いこいの場」建設について記載がありました。また、創立 50 周年（第 17 代 渋川校長先生）の際には、「リフレッシュさくらぎ 50」の合言葉をもとに、きれいに藤棚が改修されていました。（ちなみに、制服の改定もこの時期です）また、神田校長先生は、渋川校長先生の義理のお父様に当たります。藤棚をきっかけとした渋川先生との会話から、親子で桜木中学校の周年行事に携わっていらっしゃったことにたいへん驚き、学校の伝統を語り継いでいくことの大切さを私は実感しました。

4 月末から、立派な藤の花の房がたわわに咲き乱れ、藤の花の甘い香りに誘われています。

折しも本校は、昭和 22 年 5 月 3 日に大宮市立第二中学校として開設され、来年には、創立 80 周年を迎えます。この藤棚だけではなく、本校の歴史を語るものが、まだまだ校内にあるかもしれません。桜木中生の皆さんが、創立 80 周年が近づく年に在籍しているのも、何かのご縁。ぜひ、本校の歴史に興味をもつとともに、これからの桜木中の未来について考えていきましょう。



（左）現在の藤棚 （右）創立 50 周年当時の藤棚

藤の花言葉は「歓迎」「忠実な」「優しさ」「決して離れない」とあり、藤の香りには幸運をもたらすといった言い伝えがあることから、魔除けの効果があるとされています。また、「不死」と読むこともできるために、縁起が良いと言われることもあります。